

授業者・参観者・生徒で築く オープン化した授業と 授業改善の一考察

愛知県立岡崎商業高等学校

CONTENTS



- 01 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善
- 02 研究主題
- 03 研究内容
- 04 研究実践

01 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善

① 主体的な学び



興味や関心を高める



粘り強く取り組む



見通しを持つ



振り返って次へつなげる



自分と結び付ける



※ビクトグラムは、独立行政法人教職員支援機構により示されたものである

01 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善

② 対話的な学び



互いの考えを比較する



多様な手段で説明する



協働して課題解決する



多様な情報を収集する



先哲の考え方を手掛かりとする



思考を表現に置き換える



共に考えを創り上げる



※ビクトグラムは、独立行政法人教職員支援機構により示されたものである

01 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善

③ 深い学び



※ピクトグラムは、独立行政法人教職員支援機構により示されたものである

02 研究主題

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた
授業のオープン化 から始まる
 授業改善の研究



02 研究主題

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた
 授業のオープン化 から始まる 授業改善の研究

< 主題設定の理由 >



02 研究主題

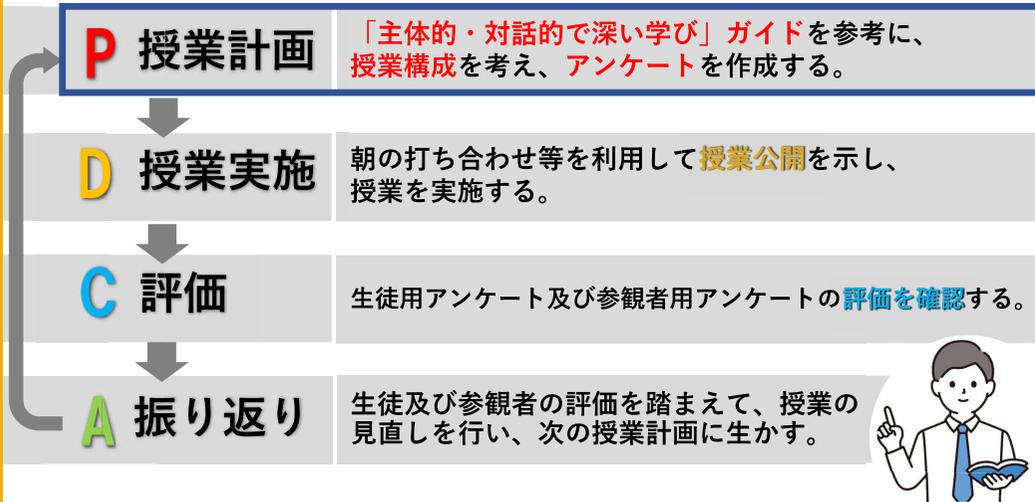
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた
 授業のオープン化 から始まる 授業改善の研究

従来の授業公開	本研究の授業のオープン化
【授業者】 ・学習指導案を作成する場合もあり ・参観者に御高評を仰ぐ	【授業者】 ・3つの視点から授業改善を行う ・参観者用アンケートをタブレットを用いて作成する
【参観者】 ・気付いたことを指導案やノート、メモ用紙等に記載 ・授業者に気付いたことを伝える	【参観者】 ・タブレット上のアンケートに回答する ・授業者に送信する

もっと気軽に
 もっと容易に

03 研究内容 < 授業実践の流れ >

手引き
p.4



03 研究内容 < P 授業計画 >

手引き
p.5

「主体的・対話的で深い学び」ガイド

実現したい生徒の姿(ピクトグラム)		教師の手だて例
興味や関心を高める	見通しを持つ	<ul style="list-style-type: none"> ・知的好奇心をかき立てる課題を設定する ・言葉だけでなく、写真や具体物を提示して引きつける ・時事問題や具体的にイメージしやすい題材を用意する ・予想や仮説を立てさせ、単元全体や本時の見通しを持たせる
自分と結びつける	粘り強く取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ・一人で解決方法を考える時間を確保する ・PBL(問題解決型学習)で、生徒自ら課題を発見し、その課題を解決する能力を養う ・課題解決のために多様な情報(資料)を収集・精査する場を設ける ・自己のキャリア形成と関連付けれる場を設定し、どのような力を身に付けたらよいか考えさせる
振り返って次へつなげる		<ul style="list-style-type: none"> ・自己の変容を自覚する場を設定し、次の学びに主体的に取り組むよう助言をする ・学習活動を振り返る場面を設け、その意味を考えたり、身に付いた資質や能力を自覚させる ・振り返ることで生まれた気付きや疑問などから新たな課題を生み出し、次の学びにつなげるよう助言する
互いの考えを比較する	思考を表現に置き換える	<ul style="list-style-type: none"> ・効果的な交流を行うための可視化の工夫を行う ・他者の考えとの違いに気付かせ、比較をさせる ・考えの根拠をもって、多様な表現で伝える場を設定する ・Teams会議で他校とディベートを行う場を設定する

03 研究内容 < P 授業計画 > 授業構成のイメージ

手引き
p.6

授業デザインシート -主体的・対話的で深い学びの実現に向けたOneAction-

【授業前】 授業構成

日時	令和 年 月 日 () 第 時間	クラス	年 組 ()
科目		単元名	
③ 時間帯	前半 ・ 中盤 ・ 後半	分間	開始から終了まで

	② 教師の具体的な手だて (One Action)	① 実現したい生徒の姿
1		主・対・深
2		主・対・深

03 研究内容 < P 授業計画 > 生徒用アンケート作成

手引き
p.7

<作成例>

Teams 課題から
アンケートを作成し
割り当てる方法

今日の授業を通して、どのような学びがありましたか。各項目について回答してください。
1 (できなかった) 2 (あまりできなかった) 3 (ややできた) 4 (できた)

1. 対話的な学び(協働して課題解決する)となりましたか。*

☹ ☹ ☹ ☹

2. 深い学び(知識・技術を活用する)となりましたか。*

☹ ☹ ☹ ☹

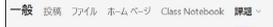
3. 今日の授業を通じて、今後さらに学習しようと思ったことはありますか。また、今後どのような授業だと興味・関心をもって受けることができますか。

回答を入力してください

03 研究内容 < P 授業計画 > 生徒用アンケート作成

手引き
p. 7

<手順> ① 該当クラスのTeamsのタブの中から「課題」を選択する



② 作成からクイズを選び、「新しいクイズ」を選択する



③ タイトルと質問項目を入力して「完了」を選択する



④ 締切日を設定し、「割り当てる」を選択すると投稿欄にアンケートが表示される

03 研究内容 < P 授業計画 > 参観者用アンケート作成

手引き
p. 8

<作成例>

Formsでアンケートを作成しリンク先を添付する方法

授業を参観いただき、「主体的・対話的で深い学び」に関するアンケートへのご回答をお願いします。

1 (できていなかった) 2 (あまりできていなかった) 3 (ややできていた) 4 (できていた)

1. 対話的な学び(協働して課題解決する)となっていましたか。*

☆☆☆☆

2. 深い学び(知識・技術を活用する)となっていましたか。*

☆☆☆☆

3. 生徒の様子をご覧いただき、良かった点や改善点があればお書きください。

回答を入力してください

03 研究内容 < P 授業計画 > 参観者用アンケート作成

手引き
p. 8

<手順> ① Formsにサインインし、「新しいクイズ」を選択する



② 生徒用アンケート同様、タイトルと質問項目を入力する

③ 「回答を収集」を選択し、リンクをコピーする



④ Teams等にリンクを添付し、授業アンケートに誘導する



03 研究内容 < 授業実践の流れ >

手引き
p. 4

P 授業計画

「主体的・対話的で深い学び」ガイドを参考に、授業構成を考え、アンケートを作成する。

D 授業実施

朝の打ち合わせ等を利用して授業公開を示し、授業を実施する。

C 評価

生徒用アンケート及び参観者用アンケートの評価を確認する。

A 振り返り

生徒及び参観者の評価を踏まえて、授業の見直しを行い、次の授業計画に生かす。



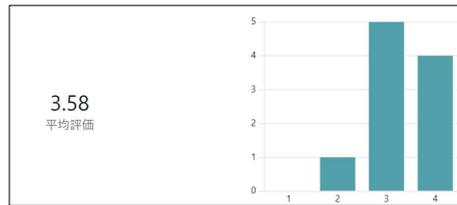
03 研究内容 < C評価・A振り返り >

手引き
p.9

授業用アンケートは、生徒や参観者の視点からの気づきを通して、授業者が授業の振り返りを行い、授業改善につなげるものとして活用できる。Teams課題にアンケートを投稿した場合は、「結果概要」を選択すると、回答の収集を容易に行うことができる。

<結果の表示例>

- ① 質問項目を「選択肢」でアンケートを作成した場合は、**円グラフ**で結果が表示される。
- ② 質問項目を「評価」でアンケートを作成した場合は、**棒グラフ**で結果が表示される。



04 授業実践

科目 財務会計 I

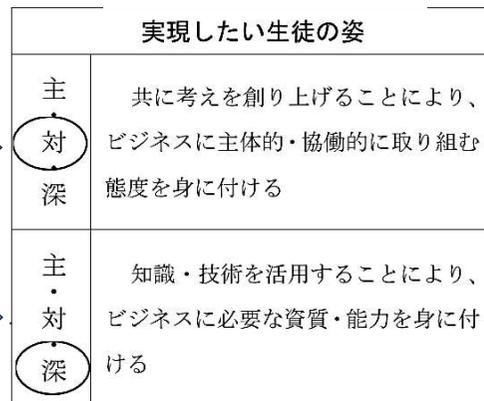
単元 経常損益の計算
(外貨建取引)



04 授業実践 < P 授業計画 > 実現したい生徒の姿を考える

「主体的・対話的で深い学び」
ガイドより

授業デザインシート



04 授業実践 < P 授業計画 > 具体的な手だてを考える

授業デザインシート —主体的・対話的で深い学びの実現に向けたOneAction—

【授業前】 授業構成			
日時	令和5年9月19日(火)第2時限	クラス	2年A組(教室)
科目	財務会計 I	単元名	16章経常損益の計算(外貨建取引)
時間帯	前半・中盤・後半	25分間	開始から終了まで

教師の具体的な手だて (One Action)		実現したい生徒の姿	
1	為替相場と為替差損益の関係性について、生徒同士で対話を図り、よりよい考えを創り出させる	主 対 深	共に考えを創り上げることにより、 ビジネスに主体的・協働的に取り組む 態度を身に付ける
2	為替予約を行う場合と行わない場合を考えさせ、為替予約を行う目的を考えさせる	主 対 深	知識・技術を活用することにより、 ビジネスに必要な資質・能力を身に付 ける

04 授業実践 < P 授業計画 > プリントにピクトグラムを表示して意識付け

16章 経常損益の計算（外貨建取引） 2年 級 番 氏 名

次の資料に基づいて、各問いに答えなさい。なお、勘定記入は日付・金額を示すこと。

【資料】為替相場

	直物為替相場	先物為替相場
10月18日	106円/ドル	112円/ドル
12月9日	108円/ドル	110円/ドル
2月28日	109円/ドル	108円/ドル
3月31日	111円/ドル	106円/ドル

(1) 次の仕状を示し、損益計算書（一部）への記載を行いなさい。

10月18日 米国の取引先A社から商品200ドルを仕入れ、代金は後日支払うこととした。
 12月9日 米国の得意先B社へ商品300ドルを売り上げ、代金は後日受け取ることにした。
 2月28日 A社に対する買掛金200ドルについて、為替予約をおこなった。
 3月31日 決算日を迎えた。

	借方	貸方
10月18日		
12月9日		
2月28日		
3月31日		

為替差損益

損益計算書（一部）

令和4年度第1四半期の決算書第102頁

IV 営業外収益 () ()

IV 営業外費用 () ()

(2) 2月28日に為替予約を行わなかった場合、損益計算書（一部）への記載を行いなさい。

	借方	貸方
10月18日		
12月9日		
3月31日		

為替差損益

損益計算書（一部）

令和4年度第1四半期の決算書第102頁

IV 営業外収益 () ()

IV 営業外費用 () ()

(3) 為替相場と為替差損益の関係性を述べなさい。（3語以上用いよ。）
 【社入時・販売時・買戻・買高・為替差損・為替差益・為替予約】

04 授業実践 < P 授業計画 > 生徒用アンケート作成・投稿

Teams 課題機能からアンケート作成

授業アンケート「経常損益の計算（外貨建取引）」

今日の授業を通して、どのような学びがありましたか。各項目について回答してください。

1. (できなかった) 2. (あまりできなかった) 3. (ややできた) 4. (できた)

1. 対話的な学び（共に考えを創り上げる）となりましたか。 *

2. 深い学び（知識・技術を活用する）となりましたか。 *

3. 今日の授業を通して、内容の理解は深まりましたか。 *

4. 今日の授業を通して、今後さらに学習しようと思ったことはありませんか。また、どのような授業だと興味・関心をもって受けることができますか。

回答を入力してください

アンケート投稿

課題 月曜日

授業アンケート「経常損益の計算（外貨建取引）」

期限 9月22日

課題の表示



04 授業実践 < P 授業計画 > 参観者用アンケート作成・添付

Formsでアンケート作成

【参観者用アンケート】「財務会計I（経常損益の計算）」

授業を参観いただき、「主体的・対話的で深い学び」に関するアンケートへご回答をお願いします。

1. (できていなかった) 2. (あまりできていなかった) 3. (ややできていた) 4. (できていた)

1. 対話的な学び（共に考えを創り上げる）となっていましたか。 *

2. 深い学び（知識・技術を活用する）となっていましたか。 *

3. 生徒の様子をご覧いただき、良かった点や改善点がございましたらご記入をお願いします。

回答を入力してください

授業公開の案内リンク先の添付

本日2限2年A組「財務会計I」公開授業（後半25分）

(商業) お時間ございましたら生徒の様子をご覧いただき、アンケートへの回答も是非お願いします！

<https://forms.office.com/r/JaudnE6EPu>

04 授業実践 < D 授業実施 > Drawboard PDFを用いて効率的な指導

16章 経常損益の計算（外貨建取引） 2年 級 番 氏 名

次の資料に基づいて、各問いに答えなさい。なお、勘定記入は日付・金額を示すこと。

【資料】為替相場

	直物為替相場	先物為替相場
10月18日	106円/ドル	112円/ドル
12月9日	108円/ドル	110円/ドル
2月28日	109円/ドル	108円/ドル
3月31日	111円/ドル	106円/ドル

(1) 次の仕状を示し、損益計算書（一部）への記載を行いなさい。

10月18日 米国の取引先A社から商品200ドルを仕入れ、代金は後日支払うこととした。
 12月9日 米国の得意先B社へ商品300ドルを売り上げ、代金は後日受け取ることにした。
 2月28日 A社に対する買掛金200ドルについて、為替予約をおこなった。
 3月31日 決算日を迎えた。

	借方	貸方
10月18日		
12月9日		

04 授業実践 < D 授業実施 > 生徒が対話を図りながら考えを創り出している様子



04 授業実践 < D 授業実施 > 各グループの意見はスクリーンに表示



04 授業実践 < D 授業実施 > アンケート回答

【生徒】

【参観者】



04 授業実践 < C 評価 > アンケート結果

1. 対話的な学び（共に考えを創り上げる）となりましたか。			
3.2/4 目標 授業者	3.67 平均評価 生徒		3.67 平均評価 参観者
2. 深い学び（知識・技術を活用する）となりましたか。			
3.2/4 目標 授業者	3.52 平均評価 生徒		3.33 平均評価 参観者

04 授業実践 < C評価 >

アンケート結果

今日の授業を通して、今後更に学習しようと思ったことはありますか。また、どのような授業だと興味・関心をもって受けることができますか。

生徒記述

17	この先、円安円高がどうなるのか分からないので、損を出さないために為替予約をすることがあるのだと分かりました。問題だけでなく、 <u>今現状の円安の場合で解くと、どう価格が変化するか想像しやすかったです。</u>
18	為替相場に沿って計算することで円安円高がどんなふうになっているのか詳しく学ぶことができました。
19	今日の授業を通して、外貨建取引について学びました。為替について、日本円で海外のお金を買うということぐらいしか知らなかったのですが、仕訳や予約レートを学び、 <u>為替に少し興味を持ちました。</u> 今回は班での活動でしたが、気の知れた仲間とともに学習するのは楽しく、気楽にできたので、こういった授業をこれからも取り入れてほしいと思いました。
20	今回のように二人以上で考えたりすることで、理解が深まったり、わからないところを共有でき、先生に聞きやすかったり、眠くならず集中して授業に取り組みました。また、何回も同じような問題や解き方を教えてもらうことで、 <u>最初は全くわからない問題でも得意な問題になりました。</u>
21	為替相場と為替差損益の関係性について自分なりの言葉でうまくまとめられました。為替予約をすることで何がいかなど詳しく調べてみたいです
22	<u>グループを作って、話し合いをしながら授業を受けるほうが、わかりやすいし、理解が深まるので、そのような授業を受けたいと思います</u>

04 授業実践 < C評価 >

アンケート結果

生徒の様子をご覧いただき、よかった点や改善点がございましたらご記入をお願いします。

参観者記述

1	「分かった?」「そういうことね」など互いの理解度を確認しあい、具体的にお互いに教えあい、学びあう場面が多く見受けられた。 <u>仕訳を解いた時点ではぼんやりとしていた為替相場と為替差損益について、関係性を記述させる場面で対話させ、互いに説明しあうことで理解が深まった。</u> 生徒が主体的に活動しており、よい雰囲気での授業でした。ご指導ありがとうございます。今日は、グループの人数が2人が2つ、3人が1つ、4人が5つであったが、グループの作り方など、学びの土台となる部分を普段からどうされているのか聞きたいです。
2	<u>班の意見を共有にしたソフトで編集して、前で表示するやり方はとても勉強になりました。</u> 活発に意見交換や教え合いができていたところが良かったと思います。
3	後半の話し合いでの学びの際に、直物と先物では直物のほうが分かり易く、記入しやすそうではあったが、先物取引について直前まで学習していても、直物と先物での取引の違い、メリットデメリットがあることまで考慮はしづらかったように見えた。 <u>用語選択肢としては為替予約は必須か可能な限り使う、のほうがよかったかとは思う。</u> 生徒は授業に集中できていてよい授業態度であった。 <u>PDFの回答の表示方法も簡易で効率的であった。</u>

04 授業実践 < A振り返り >

3者の気付きからの授業改善

次のP授業計画へ

- ① 授業の本質的なねらいの明確化
- ② 生徒の目的意識や意欲を引き出す課題の設定
- ③ 時間配分の組み立て
 - ・教師が教える場面
 - ・生徒が考える場面
 - ・生徒同士で対話し合う場面

